

(様式1)

「絆の作り手育成プログラム研究指定校」実績報告書（2年次）

1 学校名等

学 校 名	木津川市立 加茂小学校							校長名	久保 嘉章	
所 在 地	〒619-1152 京都府木津川市加茂町里西上田11番地1 電話 (0774)76-2101 FAX (0774)76-8002									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合 計	教職員数	
学 級 数	2	2	2	1	2	2	2	13	20 ※校長・教頭を含む	
児童生徒数	40	40	44	30	47	40	9	250		
連 携 先 (文化財所有者等)	浄瑠璃寺・岩船寺・当尾の石仏・常念寺・岡田鴨神社・御 霊神社・大仏鉄道・海住山寺									

学 校 名	木津川市立 恭仁小学校							校長名	市橋 純子	
所 在 地	〒619-1106 京都府木津川市加茂町例幣中切31・32 電話 (0774)76-2103 FAX (0774)76-8230									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合 計	教職員数	
学 級 数	1	1	複式	1	1	1	1	6	10 ※校長・教頭を含む	
児童生徒数	7	9	7	5	9	8	1	46		
連 携 先 (文化財所有者等)	恭仁宮跡・海住山寺・山城郷土資料館 等									

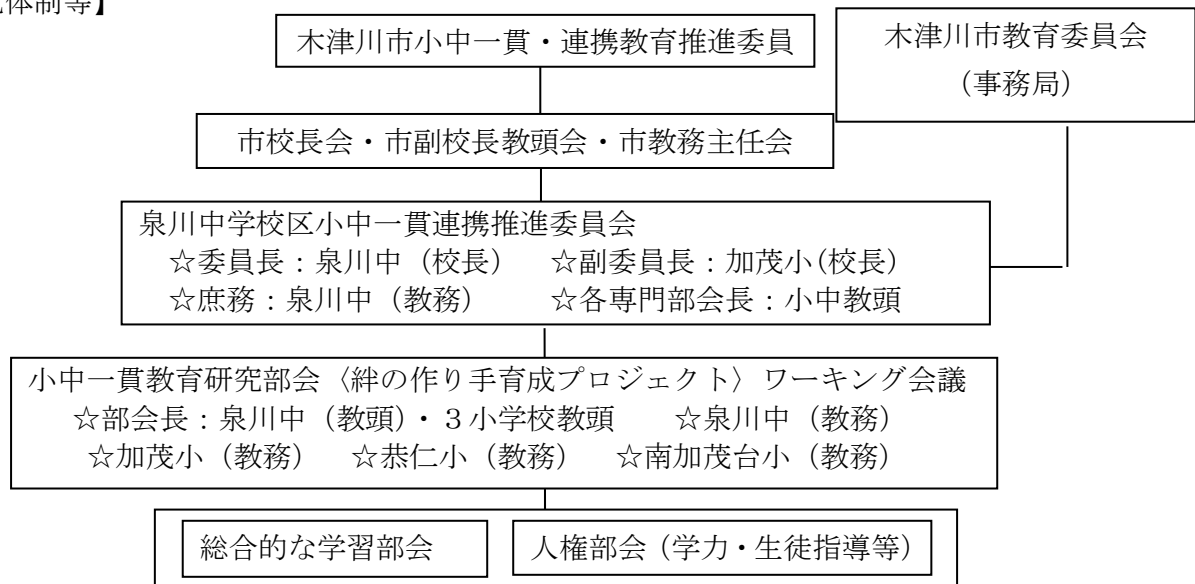
学 校 名	木津川市立 南加茂台小学校							校長名	高橋 敬子	
所 在 地	〒619-1127 京都府木津川市南加茂台12丁目11番地 電話 (0774)76-3400 FAX (0774)76-8232									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合 計	教職員数	
学 級 数	1	1	1	1	1	1	2	8	14 ※校長・教頭を含む	
児童生徒数	13	17	18	26	26	29	9	138		
連 携 先 (文化財所有者等)	浄瑠璃寺・岩船寺・当尾の石仏									

2 研究校の概要

【加茂ブロック3小】

- ・加茂地域は、木津川市内でも最も文化財が多く存在する地域である。史跡恭仁宮跡のような遺跡や浄瑠璃寺・海住山寺・岩船寺など国宝・重要文化財指定の建造物や美術工芸品を有する社寺等がある。
- ・少子高齢化・過疎化により地区での文化財の保存管理、後継者不足により適切な文化財の保護・継承が危惧されている。
- ・加茂地域では、3小学校から1中学校に入学するが、各小学校の児童数の減少がみられ小規模校化している。多様な学びや系統的な体験の機会を設けることにより、連続した学びに支えられた学力の向上や教員の指導力、授業力の向上を目指している。(加茂小 学年2学級、南加茂台・恭仁小 学年1学級)
- ・これまでに地域を教材とした「地域学習 ふるさと絆学」として小中学校9年間での系統的な取組を各校で実施してきた。
- ・小中一貫教育を目指し、中学校ブロックで共通の研修実施や授業交流、教育課程また系統的な「ふるさと学習」等の調整などを積極的に実施している。
- ・中学校ブロックでは、一人一台タブレット型端末を効果的に活用した授業づくりに積極的に取り組んでいる。

【研究体制等】



3 主な研究活動

【研究主題】「郷土・人・地域社会とつながり、主体的に未来を生き抜く児童の育成」

学習課題	地域の良さを知り、その良さを生かすにはどうしたらよいだろう		
学校規模	加茂小 (全校 250名) 6年: 40名	恭仁小 (全校 46名) 6年: 8名	南加茂台小 (全校 138名) 6年: 30名
学習課題	ふるさと再発見!	みかのはらの歴史再発見!	当尾文化財 PR 大作戦!
文化財	浄瑠璃寺・岩船寺・当尾の石仏・常念寺・岡田鴨神社・御霊神社・大仏鉄道・海住山寺	海住山寺・恭仁京跡	浄瑠璃寺・岩船寺・当尾の石仏
外部人材	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO ふるさと案内 ・浄瑠璃寺/岩船寺住職 ・木津川市観光協会 ・公民館祭り実行委員会 ・木津川市文化財保護課 	<ul style="list-style-type: none"> ・海住山寺住職 ・木津川市文化財保護課 ・公民館祭り実行委員会 ・山城郷土資料館 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO ふるさと案内 ・お話ポケット ・浄瑠璃寺/岩船寺住職 ・当尾文化祭実行委員 ・公民館祭り実行委員会 ・木津川市文化財保護課

【各校の取組】

	加茂小 『ふるさと再発見！』	恭仁小 『みかのはらの歴史再発見！』	南加茂台小 『当尾文化財 PR 大作戦！』
取組目標	地域の歴史や文化を調べ、その魅力を地域の方や他地域の方に発信することを通して、郷土のよさを再認識するとともに、将来にわたって地域を愛する気持ちを育成する。	地域の歴史や史跡、地域の人々の思いを知って地域の良さや課題を再認識するとともに、課題を主体的・協働的に解決しようとする態度や郷土を大切にする気持ちを育成する。	地域の歴史を調べ、他へ発信していく活動を通して、地域の良さ、特長などを再認識するとともに、地域の文化財を大切にする気持ちを育成する。
P R	・ガイドブック作成 ・市内小学校へ発信	・知名度向上、課題解決の方策 (海住山寺)	・ポスター、ちらし、HP、動画制作、劇やクイズを通じて、市内小学校・校区保育園・保護者・地域等へ発信 ・文化財周辺清掃活動
進め方	外部人材から文化財について広く知ってもらいたいという願いだけでなく、地域や地元の人々が文化財についてもっと知ってほしいという思いを聞き、文化財をアピールする取組とともに自分たちには何ができるかを考え、発信を行った。	文化財のフィールドワークや外部人材へのインタビューを通して、文化財保有者が抱える課題に対する実現可能な解決方法をターゲットを焦点化し話し合い提案した。また、地域社会の一員として、地域の文化財との関わりを見つめ直し、今後自分たちにできることを考えた。	文化財に関わる事前学習（言い伝え読み聞かせや調べ学習）また、現地での所有者インタビューを通じて、文化財所有者の課題を把握し、グループでその課題に対する解決方法やターゲットを焦点化し、学習を進め、ターゲットに応じた発信を行った。
様子			

【各校の交流】 オンライン交流（年3回）



第1回は、6年担任・教務で年間指導計画の確認を行った。
第2回は、各学校の取組の交流（進め方や進捗状況）をオンラインで行った。



プロジェクト内容②

内容
1か月2回
第2、第4土曜日
座禅、写経の体験、
精進料理を作る



地域のの人にポスターで広める!!

理由
目に留まって興味を持ってもらえるから

第3回は、各小学校の学習のまとめを交流した。また、校区の中学校の1年生が取り組んでいる「ふるさと学習」についてもオンラインで発表するなど、成果・課題を中学校区で共有し合った。また第2・3回には木津川市文化財保護課の方も参加いただき、児童の活動について感想をいただいた。

4 今年度の研究の成果と検証

【児童】

- ・昨年度の課題を踏まえ、文化財所有者の悩みを把握し、課題解決のためのターゲットの焦点化などを実施していくことで、より児童の主体的な活動につながった。
- ・文化財のフィールドワークや外部人材へのインタビュー、発信のための協力等を通して、地域の人々と交流し、郷土の良さや課題に気付き継承についての意識を高めることができた。
- ・自ら課題を設定し、その解決に向け情報の収集や整理・分析したり、仮説を立て検証したり、まとめ表現したりする課題解決型の学習を通して思考力や判断力が養われた。
- ・検証するためにアンケートをとる、再度インタビューを行う、実際にやってみる等、繰り返しフィードバックしながら改善を図ることができた。
- ・発信方法が多岐になり、ポスターやチラシのみならず、HP やガイドブック、動画や劇、キャラクター制作など、ターゲットに応じた方法を工夫することができた。
- ・3小学校と校区の中学校が交流することで、学習の系統性や成果・課題等を共有することができた。また、多様な人と交流したり協働したりする中で、新たな価値を創造し個性を伸長することができた。
- ・3小1 中学の交流内容が文化財の紹介にとどまらず、学習過程や課題の解決策、フィードバックや成果と課題など、1年間の学習を振り返った内容で学びを確認することにつながった。
- ・調査や発信、成果物の作成等、目的に応じた ICT 機器の効果的な活用や相手を意識した情報活用能力の向上が見られた。
- ・学習したことを次の学年に引き継ぐ取組を各学校で実施するなど学習の積み上げにつながった。

【学校・教職員】

- ・「絆の作り手プロジェクト」ワーキング会議（年間4回）を開催し、総合的な学習の時間（地域学習「ふるさと絆学」）を軸とした小小連携や小中一貫カリキュラムの編成・整理に着手することができた。
- ・課題解決型の学習についてキャリア教育コーディネーターを招聘して研修し、学習の基本の流れや必要なスキル、各学年で付きたい力等を学びカリキュラムの改善を図ることができた。
- ・府教委や山城教育局指導主事の授業についての指導助言により、取り組み方や指導方法等の改善点が明確になり、今後の見通しを持つことができた。
- ・山城郷土資料館と連携し、資料館を訪問したり、講師として招聘し地域の歴史や史跡についての話を聞いたりすることを通して、学びを深めることができた。

【家庭・地域社会】

- ・文化財を主として地域とつながり、文化財をアピールする取組（ちらし、ポスターの作成、改善策の考案等）や課題に対する解決策の発信等を通して、市内のみならず広域地域との関わりを深めることができた。

5 今年度の課題

- ・地域の歴史や文化財について学ぶ地域学習「ふるさと絆学」の体験学習や学習活動（学習過程）等、系統的なカリキュラムのさらなる整理・編成が必要である。
→ワーキング会議を中心に小中連携の視点を踏まえながら進めていく。
- ・文化財の所有者や継承・保存に尽力されている団体等が抱える課題を把握し、ターゲットを焦点化した実現可能な解決策の仮説を立て、検証を繰り返しながら実行していく力を向上する。
→情報活用能力の向上を図り、個別最適な学びや協働的な学びを充実し、整理・分析、仮説・検証、まとめ・表現する力等、課題解決型の学習を通して認知能力や非認知能力を一体的に育成する。
- ・コロナ禍の下、3小学校の交流がオンライン活用での実施となった。
→来年度は実際に顔を合わせた発表や交流する場を設定し学びを広げ、認知能力と非認知能力を一体的に育てていく。
- ・各校で課題解決型学習（PBL）の研修機会を設定できたが、全体研修は実施できなかった。
→3小1 中学校合同研修会など、府機関との連携を図りながら教職員の学ぶ機会を設ける。

6 事業終了後の研究構想

- ・ワーキング会議を中心に小小連携、小中連携も視野に入れたカリキュラムの編成・整理の継続。
- ・今年度の学習の成果と課題を踏まえ、それを生かした学習の継承と積み上げ。
- ・課題解決型の学習を活用した地域学習「ふるさと絆学」や ICT 活用等についての研修。

第6学年 総合的な学習の時間 単元計画

木津川市立加茂小学校

単元名	ふるさと再発見！わたしたちの加茂	探究課題	地域の伝統や文化とその継承
-----	------------------	------	---------------

単元目標	地域の文化財を調べたり、それを保護する人々と関わることを通して、地域の伝統文化のよさに気づき、協働して地域の魅力を伝えることができる。
------	---

本単元で育成を目指す資質・能力

<p>び知識 能及</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化財は、地域の人々によって大切に守られてきたことを理解する。 調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。 地域の文化財に関する理解は、地域の魅力を広めるために解決すべき課題について探究的に学習してきたことの成果であることに気づく。
<p>表判思 現断考 力力力 等、等、</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統文化への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えることができる。 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。
<p>間力向学 性、か び等 人うに</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとする。 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 地域のとの関わりの中で自分のできることを見付けようとする。

単元の展開例

小単元 時間 探究課題 学習過程	小単元1 時間	小単元2 時間	小単元3 時間	小単元4 時間
	あまり知られていない加茂の文化財	加茂の文化財について調べる	加茂の文化財の素晴らしさを伝えよう	自分ができることは何だろう
課題の設定	○加茂の文化財数や観光客数から、文化財の数が多いのになぜ観光客数が少ないのかを考える。	○加茂の文化財について、実際に調査に出かける計画を立てる。	○加茂の文化財のよさを知らうためには、どうすればよいかを話し合う。 * 誰に伝えるのか(相手意識もって)を考えさせる。	○学習を振り返り、加茂の伝統文化を守り、広めていくために自分ができることは何かを考える。
情報の収集	○加茂の文化財にはどのようなものがあり、どんなところなのかを調べる。 ○市の観光商工課や文化財保護課などの文化財に関わる方々の願いを調べる。 * 情報を集める方法を考えさせ、役割分担させる。	○加茂の文化財について、インターネットや本を使って調べる。 * 役割分担させ、適宜交流させる。 ○NPOふるさと案内をゲストティーチャーに迎え、現地調査をする。	○さらに必要な情報の収集する。 * 観光協会に協力をお願いする。 ○まとも方について情報を収集する。	○自分たちにできること、できそうなことをグループで出し合い、実際にどんなことができ、それがどのような貢献につながるかを話し合う。 * 互いの考えを出し合いながら、多面的に検討させる。
整理・分析	○調べた情報の中から、どの情報を使えば観光客数が増えるかを整理する。	○調べた情報の中から、どの情報を使えば観光客数が増えるかを整理する。	○グループでまとも方を決定し、どのような工夫が必要かを考え準備を行う。	○自分ができることを作文にまとめる。 * 必要に応じて個別指導を行い、できることをまとめさせる。 * 貢献に大小はなく、貢献する気持ちや取り組む中での工夫や努力が大切であることを伝える。
まとめ・表現	○加茂の文化財の魅力を伝えるためには自分たちには何ができるか、学習計画を立てる。	○加茂の文化財のよさをグループでまとめる。 * まとめかた(新聞・パンフレット・プレゼン資料等)を選択させる。	○まとめたものを関係する人(木津川市観光協会・城山台小学校・など)に見てもらい、アドバイスをもらう。 ○アドバイスをいかしてブラッシュアップする。	○関係する人(観光商工課・文化財保護課・文化財保護団体・NPOふるさと案内かも)を招いて、発表する。 * これまでの感謝の気持ちと地域の一員として、どのように行動していくかを発表する場とする。
振り返り	○加茂の文化財のよさを伝えるためには、まず自分たちが文化財について詳しく知らなければならぬ。 ○加茂の文化財のよさをたくさんの人に伝えたい。	○加茂の文化財の素晴らしさがわかった。 ○加茂の文化財を知ってもらうためにはどうすればいいのだろうか。	○加茂の文化財のよさを伝えることができた。 ○ほかの方法でも発表したいな。	○加茂の文化財は多くの人たちに守られてきたことがわかった。 ○これからは地域の一員として、加茂のよさを伝えていきたい。

連携機関 地域人材等	市観光商工課 75-1216、府教委(文化財保護課)・山城郷土資料館 市文化財保護課(永澤さん) 75-1232、文化財所有者 NPOふるさと案内かも(西村さん) 090-6910-8480 一般社団法人 木津川市観光協会 企画担当チーフ 渡辺紀子さん(名刺あり)
---------------	--

総合的な学習の時間の目標		「ふるさと」である南加茂台小学校区を学びの場とすることで、地域のよさや素晴らしさに気付き、ふるさとを愛する気持ちを育てる。												時数																							
月	4月			5月			6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計			
週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	70
地域や学校の特色に「ながも」に応じた探求課題	「当尾文化財PR大作戦」～(58h) 見つける・整理する → 調べる・(やってみる) → とめる・つなげる												58																								
	～課題発見編～(10h) 【見つける】③ *当尾について考える③ (課題はあるの?) *当尾の言い伝え③ 【調べる】⑥ *見学して調べよう!⑥ 【整理する】② *見学から分かったこと 【まとめる】① *問題点と課題の決定	～課題解決編～(18h) 【見つける】⑤ *解決のための方法決定 (だれに・どのようにして) 【調べる】【整理する】③ *調べ学習 *資料整理 【まとめる】⑤ *ポスター、ちらし、動画、劇、クイズ、ホームページの作成 【伝える・つなげる】 *取組の発表⑤ (9/20参観、10/15合同発表会) ⇒ 評価をもらう (Forms)	～取組の実行編～(9h) 【見つける】① *2回の発表から課題を見つめる 【調べる】【整理する】③ *改善策を考え、実行する 【まとめる】④ *改善したものを作成する 【伝える・つなげる】① *成果物を発表する (秋の季節に合わせてポスターなどを掲示したい) *Formsによる評価	～まとめ編～(19h) 【見つける】① *成果物に対する評価を集める 【調べる】【整理する】① *評価の分析を行う *取組の成果と課題、改善策を考える 【まとめる】⑤ *PowerPointを使って、発表の準備をする 【伝える・つなげる】 *改善しながら何度も発表する① (1/26、2/1授業参観、2/14合同発表会、3月に5年生へ)	12/9 寺の掃除	福祉教育																															
現代的な諸問題に「かがやき」に対応する課題	情報教育 情報モラル、プログラミング的思考の育成、タブレットの基本的な操作習得 (11h 月1回実施)												12																								
成果と課題 (外部講師を利用した場合はその情報等も) ○子ども達に課題決定をさせることで、1年間の学習のエンジンとなった。 ○当尾に関する知識だけでなく、課題解決の方法を身に付けることができた。 △今年度は、取組のスタートが遅かったため、次年度は4月にスタートさせたい。 4月にスタートさせることによって、11月の紅葉のころにポスターなどを掲示できると考える。 △ある程度、教師が導いていくことが大切だと感じる。しかし、子どもたちが自分たちで活動していると感じさせる指導法が必要である。 △できれば、4月に年間の訪問予定などがわかると、計画を立てやすい。																																					

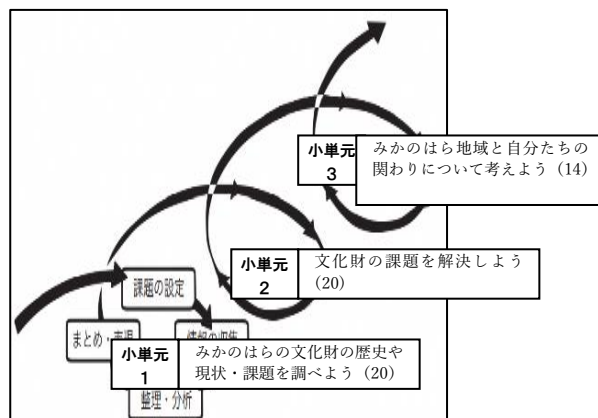
1 単元名：第6学年「みかのはら歴史再発見」（54 時間扱い）

2 単元の概要

本単元は、全体計画に定めた「地域の伝統や文化とその継承」を踏まえて構想した単元である。

本校の地域では、国宝や重要文化財、史跡など多くの文化財があり、地域住民はその維持や管理・魅力の発信について積極的に活動している。一方で児童は文化財の存在については認識しているものの、その歴史的価値について学ぶ機会が少なく、維持に関わる人々の思いについて触れる機会もなかった。

文化財について学び、文化財に対する地域の方々の思いが、地域を守り存続させたいという思いにつながっていることを知ると共に、自らも地域の一員として文化財の保護や維持について考え行動できるようにすることをねらったものである。



3 単元目標

地域の文化財を守る方々と関わる活動を通して、自分が住む地域の歴史や受け継がれてきた伝統文化のよさが、地域の魅力であることに気付き、文化財の保護や伝承について考えると共に、地域の一住民として地域を大切にし、自らの生活や行動に生かそうとする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力、人間性等
①地域には、恭仁京や海住山寺など国宝・重要文化財、有名な史跡が数多く有り、それらの歴史的価値について理解している。 ②文化財について大切にしている人々やその人々の思いを理解している。 ③相手や場面に応じた適切な手法で調査活動を実施している。 ④地域の方の文化財に対する思いへの理解は、文化財についての課題解決学習を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	①地域にある文化財について、現状と人々の願いとの隔たりから課題を設定し、解決に向けての方向性を見通している。 ②調査手段を選択しながら課題の解決に向けた情報を、収集している。 ③文化財の魅力を伝えるために必要な情報を取捨選択し、課題解決に向けて考えている。 ④活動を通して学んだ文化財の抱える課題を踏まえて解決方法を考え、伝える相手や目的に応じて適切な方法でまとめ、表現している。	①活動を通して、自分と地域や文化財の保護に取り組む人々との関わりを見つめ直そうとしている。 ②地域や文化財の課題を解決する取組を実行する中で得た知識や友達の考え、地域の方々の考え方を活かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③課題解決に向けた自分の学習過程を振り返りながら、文化財の課題解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。

5 単元の展開例

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
みかのはらの文化財の歴史や現状・課題を調べよう(20)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化財や史跡の歴史について調べる。 地域の文化財や史跡を見学したり、それに関わる人々の思いを聞いたりする。 見学や調査から分かったことを整理し、文化財や史跡を取り巻く課題の現状を明らかにする。 課題解決に向けて、仮説を設定する。 	③	①		<ul style="list-style-type: none"> プリントの記述 発言内容
	<ul style="list-style-type: none"> 仮説を元に、課題を解決するためのアイデアを出し合う。 	①	②		<ul style="list-style-type: none"> プリントの記述 発言内容
文化財の課題を解決しよう(20)	<ul style="list-style-type: none"> 実行結果を振り返るとともに、地域の文化財や史跡の保護に関わる人々に、自分たちのアイデアや計画について意見をもらい、活動の方向性を見出すために、整理分析する。 		③	①	<ul style="list-style-type: none"> プリントの記述 発言内容
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化財や史跡の保護に関わる人々の意見を踏まえ、アイデアを練り直し、より具体化する。 	②		②	<ul style="list-style-type: none"> プリントの記述 発言内容 行動観察
みかのはら地域と自分たちの関わりについて考えよう(14)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの活動を振り返ると共に、地域の文化財の保護の取組と自分たちの関わりについて考える。 他校の取組の発表から自分たちの活動にも生かせそうな取組を考える。 			③	<ul style="list-style-type: none"> プリントの記述
	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協働しなら、文化財の課題解決に向けた取組をまとめ、中学校区交流会で発表する。 	④	④		<ul style="list-style-type: none"> プリントの記述